

プラスチック床の入れ歯と 金属床の入れ歯の違い



プラスチック床の入れ歯



金属床の入れ歯

厚み

強度を保つためにある程度の厚みが必要になります

金属なので薄く作ることができます

強さ

プラスチックでできているので、落下などにより壊れる場合があります

金属なので丈夫で壊れにくいです

温度

ある程度の厚みを持たせて作るため、食べ物の温度が伝わりにくいです

薄く作ることができるので、食べ物の温度を感じやすいです

発音

発音しにくい場合があります

(プラスチック床の入れ歯に比べると) 発音しやすいです

費用

健康保険で作ることができます

自費扱いになります

金属床に使われる金属について



【コバルトクロム合金】

強度と柔軟性を併せ持ち、さびにくく、生体への親和性が高いという特徴から、金属床の材料として一般的に使用されている金属です。



【チタン】

合金化しないことで非常に優れた生体親和性を持ち、体内に埋め込むことができるほど安全性の高い金属です。チタンならではの軽さと強さを併せ持っています。アルミニウムに次ぐ軽い素材で、コバルトクロム合金床より軽くできます。金属アレルギーを起こしにくい金属材料の一つです。

他にもゴールド(金床)、プラチナ(白金床)など、よりお身体に優しく、お口に馴染みやすい貴金属 もございます。詳しくは当歯科医院までお尋ねください。



今お使いの入れ歯、

- 違和感はありませんか？
- 食事を楽しめていますか？
- ニオイが気になりますか？

金属床義歯 にしてみたら…
美味しくなった! 笑顔が増えた!



金属床の入れ歯のご案内

詳しくは当歯科医院までご相談下さい。

歯科補てつ物製造元: 株式会社コットンテール
<http://www.cottontail.co.jp>

「金属床の入れ歯」について

「金属床の入れ歯」とは、上下のあごを覆う、『床(しょう)』の部分プラスチックではなく、金属で出来ている入れ歯です。



床を金属にすることで入れ歯を薄くすることができます。保険の入れ歯(プラスチック床)よりも、発音がしやすく、違和感が少ないのが特徴です。また、食べ物の温度がより伝わりやすくなります。保険の入れ歯では満足できないという方は、歯科医師にぜひご相談ください。

保険



(上あご用総入れ歯)



厚みがあるので違和感を感じることがあります

(下あご用部分入れ歯)

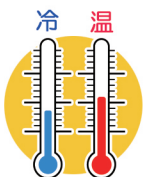
プラスチック床の入れ歯

プラスチック床
強度を保つために、
床に厚みが必要です。

金属床
強度が保たれている
ので、床を薄くする
ことができます。



プラスチック床は
食べ物の温度が
伝わりづらい

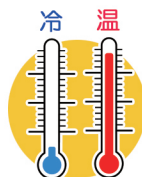


総入れ歯の比較

厚みや温度の
伝わり方が違
うのです。



金属床は
食べ物の温度が
伝わりやすい



金属の種類を選ぶ
ことができます。

※裏面参照

部分入れ歯の比較

※比較用模型



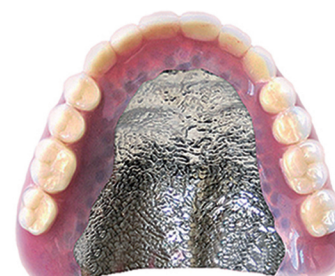
ココがポイント!

●金属床の入れ歯も修理ができます!●

従来、保険適用のプラスチック床の入れ歯は、比較的修理が簡単とされ、金属床の入れ歯は、修理をするのが難しいとされていました。

しかし、現在では、金属床の入れ歯も、専用のレーザー機器を使用することにより、適切な修理や再調整が可能となっています。

そのため、より長く安心して金属床の入れ歯をお使いいただけます。



(上あご用総入れ歯)

自費



薄く作ることができるので、違和感も少なく快適にお使いいただけます。

(下あご用部分入れ歯)

金属床の入れ歯